

従業員健康管理を多様に後押し リフレッシュルームを設置するなど

株式会社 丸政工務店



「施設内完全禁煙認定施設」を示すマークがある玄関にて、平良さん(左)と宜野座さん。

沖縄本島中央部の東海岸に位置する^{きん}金武町に本社を置く株式会社丸政工務店は、1986年、同町において有限会社丸政工務店として創業した。地域社会に貢献し、社会に信頼される経営と、「地域を元気にする企業」になることを目指し、土木工事、建築工事、管設備工事、電気設備工事を手がけて発展。2004年に、株式会社に組織変更し、現在に至る。常に、新しい技術の習得、導入に積極的に取り組んでおり、最近の実績をみると、国土交通省による「i-Construction大賞」の優秀賞を2017年度に受賞している。同賞は、建設プロセスでICT(情報通信技術)を活用する優れた取組を表彰するもので、同社は、2016年度の沖縄総合事務局発注の土木工事において、ドローンを使った測量や、3次元データを用いたICT活用工事に取り組み、工事を円滑に完成させたことなどが評価された。

産業医が身体と心の相談に対応

健康や安全にかかわる同社の資料には、「はいさい！ぐす～よ～ちゅ～うがなびら」と冒頭に書かれたものが多い。「これは、『こんにちは！みなさん、ご機嫌いかがですか！』という意味で、沖縄で昔から使われてきた言葉です」と、工事部の総務運輸総括事業部長として、総勢7人の総務部を率い、同社の健康増進対策を担う^{たいらまさし}平良正二さんは語る。そして、「当社は、この言葉を大切にし、健康と安全を第一に考え、従業員とその家族がいきいきと仕事や生活のできる会社を目指しています。そのためにも、健康診断の受診率向上に励み、20数年前から100%です。ただ、再受診率は65%ほどですので、この向上を目指し、熱心に声をかけています」と続けた。

さらに、がん検診の受診勧奨として、これからは助成制度や休暇制度を整備し、周知に努めていくという。

また、月1回、産業医に来てもらい、社員が個別に心身の相談ができる取組を3年前から実施。いまでは気兼ねなく相談する従業員が増えている。さらに、9割が男性従業員で、特に若い人は栄養や食生活にあまり関心を持たないことも多く、「6つの食品グループと調味料、エネルギーの摂取量と食事バランス表」を社内に

貼り、食生活への関心を高めたり、体重計を置いたりして、健康意識の向上を図っている。

完全禁煙化とリフレッシュルームの設置

2017年12月、新社屋が完成したことを機に、同社の健康増進の取組は一層充実した。

1つは、以前から禁煙治療のための費用の補助をしていたが、新社屋は施設内と玄関まわりを禁煙とした上、玄関を二重ドアにして受動喫煙防止対策を強化。「施設内完全禁煙認定施設」（沖縄県認定）のシールを貼り、来社する人々にも理解を求めている。また、禁煙者には、禁煙継続年数により表彰し、景品や賞金を贈呈する取組を始めた。これらの取組により、10年ほど前は約50%だった喫煙率が、現在では15%ほどにまで下がっている。

「当社を訪れたお客さまから、『社内は清潔感があり、気持ちよく訪ねられる』と言われるようにもなりました」と平良さんは話す。平良さんは自らも禁煙者で、その経験を同僚たちに話し、禁煙への挑戦を応援している。

新たな取組としてもう1つ、新社屋にリフレッシュルームを設置した。トレーニングバイク、ベンチプレス、マッサージ器などを導入し、ジムの機能も持つが、だれもが気軽に使えるようにとの思いから、やわらかな印象の「リフレッシュルーム」と名付けた。

始業前にトレーニングをしたり、昼休みに身体をほぐしたりと活用の目的はさまざま。マシンなどを使用した後は、各自で「確認表」に記入する。その記録から活用率などを割り出し、表彰する取組も始める計画だ。平良さんは「表彰対象者の選定基準づくりに悩みましたが、だれもが気軽に、自分に適した器具を利用することが大事なので、器具の種類などにかかわらず、利用回数のみで評価することにしました」と語る。

リフレッシュルームを開設して、約10か月。デスクワークの多い社員からは、健康増進器具の使用により「以前より身体が軽く、仕事はかどるようになった」といった声が聞かれるという。また、リフレッシュルームがコミュニケーションの場となり、社内の雰囲気が以前に増してよくなったそうだ。

沖縄県健康づくり表彰の準グランプリに輝く

「人手不足感はある」としながらも、工事の現場間で応援し合える態勢を整えることにより、建設業では実現が難しいとされている完全週休2日制・残業無しの職場を実現した。このほか、業務上大型トラックの操作などがあることから、毎朝アルコールチェックを行い、アルコール依存の有無を確認する。運転業務外の従業員も含めて、全員に継続している。また、健康づくりにはコミュニケーションも大切と考え、忘年会やボーリング大会などを従業員の家族、協力会社の従業員らも招いて開催。一方、毎月1日には、会社周辺で地域の人々にあいさつをしながらゴミ拾いをする活動も続けている。

このような取組が評価され、沖縄県主催「2018年度沖縄県健康づくり表彰(がんじゅうさびら表彰)」準グランプリを受賞した。これは県内で積極的に健康づくりに取り組んでいる団体を表彰するものだ。総務部・営業次長で、平良さんとともに健康増進対策を担う^{ぎのざむさし}宜野座武蔵さんは「気が引き締まります。取組を継続しながら、よりよい活動を追求していきます」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。

2018年度は、沖縄労働局がすすめる「ひやみかち健康経営宣言」も行った。「ひやみかち」は「気合を入れる」といった意味がある。

平良さんは「表彰に応募したことなどから、当社の取組を発表したり、他社の取組に学ぶ機会をいただき、見識が広がりました。今後も『自ら進める健康管理』を目標に、総務部の力の向上を図りながらフルに発揮し、誠実に取り組んでいきます」と語り、こう締めくくった。「わった～しんかんちゃ～むるし～ ちばいくとう ゆたしく うにげえ～さびら(私たち、社員一同はみんなで頑張りますのでよろしくお願ひします)」

会社概要

株式会社 丸政工務店
事業内容：総合建設業
設立：1986年
従業員：46人（2018年3月現在）
所在地：沖縄県国頭郡金武町